

# 水 清 き ふ る さ と

平成21年度活動のまとめ (2009年度)



岩手県生活問題研究会

# 2009年度 活動報告

## ——実践段階における発想の転換を——

岩手・宮城内陸地震の被害からやっと立ち直ったと思われた矢先、2010年2月28日チリ地震による津波が、三陸沿岸を直撃し漁業に対する被害が甚大となりました。改めて自然災害の恐ろしさを実感しました。

2009年は政権交代が行われ、新政権による政治が行われることになり、社会情勢も変化しつつあります。当研究会としても研究課題との関連性などを注視しながら活動を進めていく必要があります。

私たちは、2009年度の活動を行うにあたり、実践段階で発想の転換を試みしました。現在まで、水質汚染を中心に捉えて活動してきました。水を汚染する元凶をどのように少なく、また絶つことが出来るかを基本的な考え方として継続的な調査・研究をしてきました。

今年度は限りある水資源を大切にするために身近な水資源から県内・国内・国外へと発想を転換して考えていこうとするもので、学習会や、ペットボトルの水にも目を向けた活動を始めました。

どうしても減らないゴミ問題については、容器・包装の無駄を再度チェックすることの必要性から、2010年度から行われる「盛岡地域のプラスチック製、紙製容器包装の分別について」事前の学習会を行いました。

当研究会の活動は、限りある資源を大切にしようという考え方が常にその底流となっています。

次年度は、社会の動きを適確にとらえながら、新しい視点に立った活動が求められています。

2010年4月

岩手県生活問題研究会  
会長 佐藤 まゆみ



## 水道水に関して

水環境を守りたいと活動をつづけてきた私たちの会では、川を見守り、地域を決め取水をして水の検査なども行ってきました。今年はその川から取水され、私たちの家庭まで届けられる盛岡の水道水について学習し、その安全性や、市販されているボトルウォーターとの違い、環境への負荷などについて調べてみました。

2009年6月17日（水）10：30～

「盛岡の水道水について」学習会 盛岡市水道部給水課主任 阿部哲巳さん

1. 盛岡市水道事業の概要
2. 水道水の水質について
3. 鉛管について
4. 受水槽について
5. ボトルウォーターについて  
ミネラルウォーター品質表示ガイド、給水単価
6. 浄水器について
7. 現在の水道事業を巡る二つの大きな問題

学習をして、地域や、建物（高層のマンションなど受水槽使用）などにより多少の違いはあるもの、現在の水道水はかなり安全で、しかもおいしくなっていることを知りました。都会の水はまずいという昔のイメージも、ろ過装置の発達により解消され、飲み比べをしてもその違いを見分けるのは難しくなっています。

しかし市販の水を買って飲む人が多いのか、清涼飲料水とともに水もたくさんの種類が並べられ、購入されているようです。またスーパーでは当たり前のように、有料または無料のイオン水？などが提供されています。

そこで私たちは、飲料水に関して皆さんがどのように考えておられるのか、アンケートしてみることにしました。

その結果を踏まえ消費者大会の第2分科会で、発表することができました。

岩手県消費者大会第2分科会（環境）  
「飲料水を見直そう」

<内容>

- 水道部の阿部さんの講演（問題提起）
- アンケート結果の発表
- 水の飲み比べ
- 意見交流



消費者大会第2分科会

環境の視点から（水道水の安全性、CO2を減らすなど）

- ボトル水は安全か？水道水のほうがはるかに厳しい基準をクリアしている。  
（今はオゾン処理、活性炭処理など水の浄化処理がすすんでいる）
- ボトル水はおいしいか？飲み比べで検証、完全に分かる人は少数でした。
- ボトル水の環境への負荷
  - ・ペットボトルの使い捨て
  - ・地下水をくみ上げボトル詰め→地盤沈下→水不足
  - ・フードマイレージの視点からたくさんのエネルギーを使い海外から輸入→多量のCO2の放出
- バーチャルウォーター・・・輸入食品が多いこと→輸出地の水をたくさん使用
- なぜ水道水を飲まないのか？  
（アンケートより、・昔の臭かった水のイメージ、発がん性物質トリハロメタンの件、川の水は飲みたくないという意見、大人が飲まない子どもも飲まない）
- 世界には安全な水を飲めない人がいる。（人口の増加でますます水不足の時代になる）

**結論**

- ・水道水は安全である。
- ・おいしさの面からもわざわざボトル水を買う必要はない。
- ・ボトル水を買わなければCO2は減らせる。
- ・ボトル水・・・買うなら輸入品ではなく国産品、（水も地産地消）  
「マイはし」ならぬ「マイボトル」

参加者にとって、身近な水（水道水）を改めて考える良い機会になったようです。

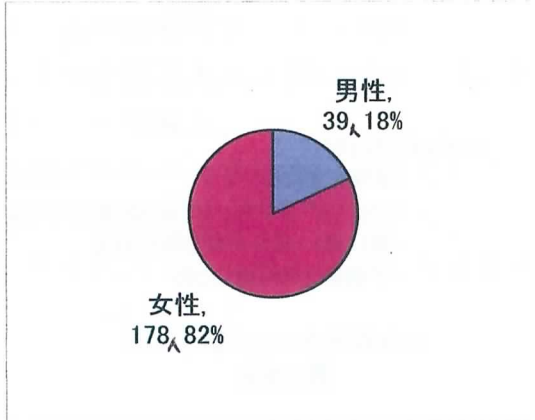
報告 田上みね子



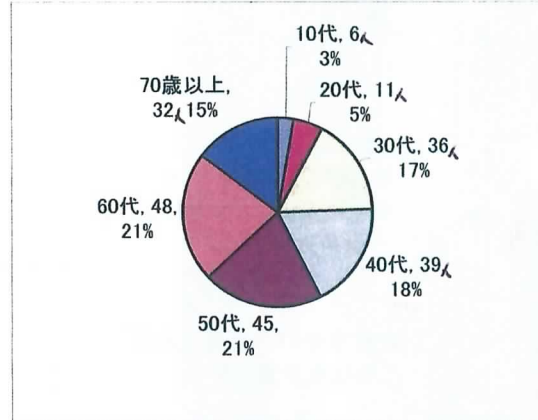
## 飲料水に関するアンケート結果

環境分科会では、2009年9月に消費者団体連絡協議会の構成団体を通じて、一般消費者対象に飲料水に関するアンケート調査を実施しました。また、9月5日の「盛岡市消費者デー」に会場の方々にも回答していただきました。300枚配布し、回答は217名でした。

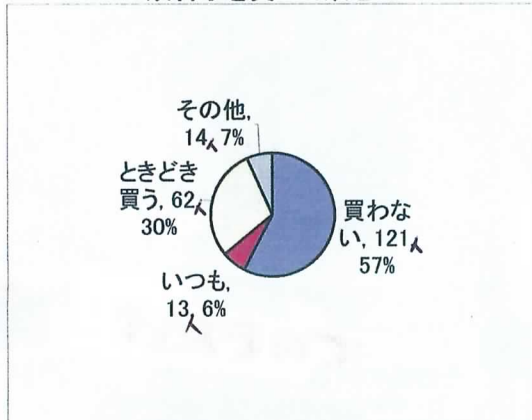
1.性別



2.年齢



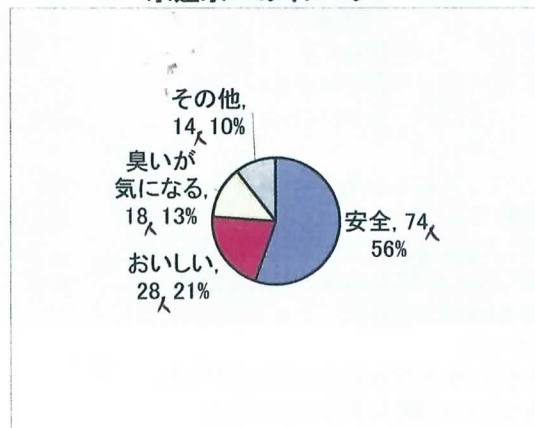
3 飲料水を買って飲むか



その他の内容 (複数回答あり)

- ・外出時に 7人
- ・スーパーでもらう 1人
- ・浄水器 3人
- ・湧き水 4人
- ・浄水カートリッジ 1人
- ・非常用に 1人
- ・お店専用のペットボトルを購入し水でもらう 1人

4 飲料水を買わない人の水道水へのイメージ



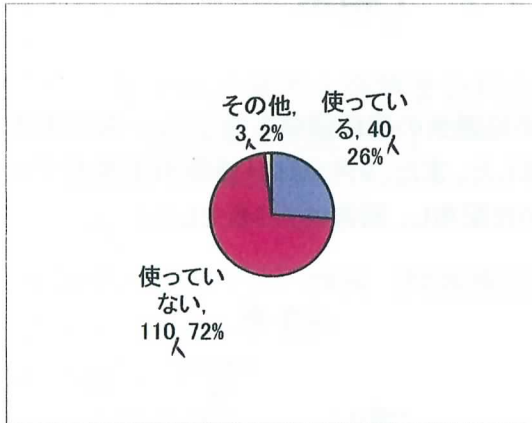
その他の内容 (複数回答あり)

- ・マンションなので何となく良いイメージがない 1人
- ・特に気にしていない 4人
- ・当市の水はおいしい 1人
- ・おいしくない 1人
- ・トリハロメタンが気になる 1人
- ・山の水が水道水に使われている地域なので結構飲める 1人
- ・安全を願う 1人
- ・自家水使用 3人

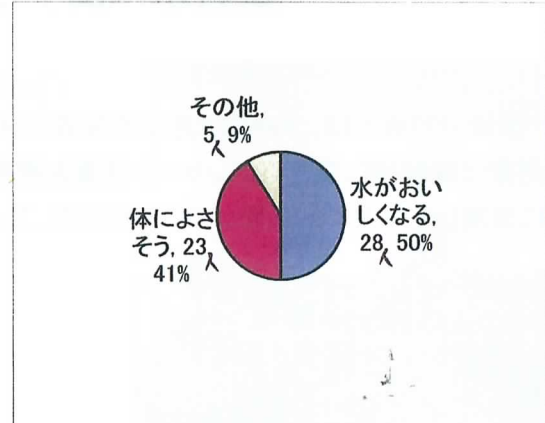
5 飲料水を買わない人が

6 飲料水を買わない人が

### 浄水器を使っているか



### 浄水器を使う理由



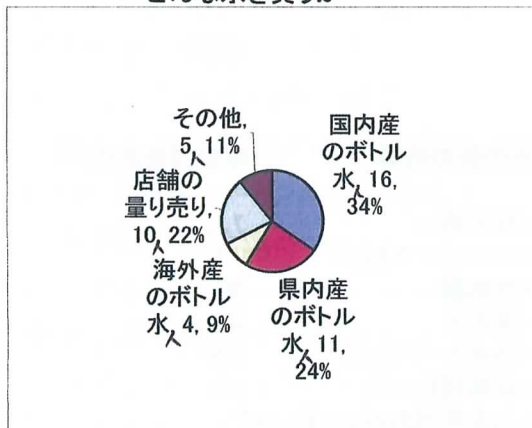
#### その他の内容

- ・水はほとんど飲まない
- ・完全に安全だとは思わないが一番身近な水だから

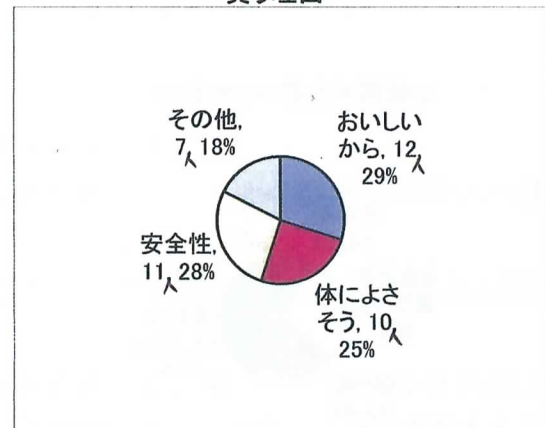
#### コメントの内容

- ・より安全になりそう
- ・つけているがカートリッジを換えていない
- ・体に悪い成分が取り除かれる
- ・不純物を取り除くため

### 7 飲料水をいつも買う人がどんな水を買うか



### 8 飲料水をいつも買う人が買う理由



#### 店舗の量り売り

- ・マルイチで
- ・コープ純水

#### その他の内容

- ・旅行や外出時にその土地のおいしい水
- ・その時々で違うが海外のはあまり買わない
- ・20ℓのパナジューム水

#### その他の内容

- ・水道水を飲めない場所では買う(東京など)
- ・水道水は2日もするとぬるぬると臭いがする
- ・なんとなく飲み水用に
- ・自分の水を持っていない時
- ・くすり臭い
- ・飲みやすいから
- ・孫が来る時だけ買う
- ・冷やして飲むから

### 《アンケート結果からわかったこと》

- ・飲料水を買わない人が60パーセント近くいて、買わない人の水道水へのイメージは安全でおいしいということが大勢であった
- ・浄水器を使う人は、水がおいしくなり、体によさそうと大方が思っている
- ・飲料水を買う人は、県内を含めると6割近くの人が国産のボトル水を購入し、店舗の量り売りという人が22%と意外に多かった
- ・海外のボトル水を買う人は、約5%と少数だった
- ・飲料水を買う理由は、おいしい・体によさそう・安全だからというものだった
- ・普段は水道水を飲んでいる人も、外出時などには購入することがある

## 水の日行動

8月1日は水の日です。  
今年7月31日12時に実施しました。  
盛岡水道部の方と一緒に。  
廃食用油から作った石鹸200個を用意しました。  
通る人々に肴町アーケード前、  
川徳前を通る人々に無料配布しました。  
手づくり石鹸と、  
水道部からのチラシを一緒に入れて  
水の大切さを通る人にお話し、  
「水を汚さない石鹸を使ってみませんか？」と  
呼びかけました。



肴町アーケード前



**全水道** 8月水政策推進月間  
水基本法を制定しよう

TEL:02-2516-4128 FAX:02-2516-1600



## もりおか消費者デー

～消費者が安心して暮らせる盛岡をめざして～

日時：2009年9月5日（土） 10:00～16:00

会場：プラザおでって3階

主催：盛岡消費者まつり実行委員会

時間	内容	進行	会場	備考
10:30 ～12:00	<b>情報モラル講座</b> ～子どもに携帯を持たせるか迷っているあなたへ。インターネットの危険を仮想体験～	・岩手県立総合 教育センター 職員	3階 大会議室	入場無料 機器40台 程度。先着 順。
13:00 ～15:00	<b>消費生活センターのお仕事</b> ～劇団による「寸劇Ⅰ」 悪質商法に負けないまち・多重債務問題 のないまちを目指して～	盛岡市消費生 活センター職 員 演劇集団「虹」	3階 ホール	入場無料
15:00 ～15:30	<b>ストリッパーの振り込め詐欺</b> ～「振り込ま川柳」コンクール発表会 劇団による「寸劇Ⅱ」～	振り込ま川柳 実行委員会 演劇集団「虹」	3階 ホール	入場無料
10:00 ～16:00	<b>健康チェック 骨量チェック</b> ①体脂肪・血圧チェック ②尿チェック（10:30と13:00各先着30人） ③骨量チェック（10:30と13:00各先着30人）	盛岡医療生活 協同組合	3階 第1・2 会議室	入場無料



### 感想

当日は他のイベントも多いためか参加者が少なく、出展団体、協力団体の方々とも気が抜けた消費者デーになってしまいました。インターネットの危険性を仮想体験できる「情報モラル」講座では係りの方がパソコンを20台用意してくれましたが、参加者は十数人でパソコンがあまる状態でした。

また、劇団「虹」による悪質商法に負けないまち・多重債務問題のないまちを目指しての寸劇も見学者が少なく、劇団の方々も張り合いが無かったと思います。

私たち研究会は、「水はめぐる」というパネルにより水の大切さをPRするとともに、手作り石けんをわたし水をきれいに使う方法などについて説明しました。

昨年から一日だけの消費者デーとなり、お知らせしても参加者が少ない状態です。どうしたら集まってくれるのかもっと知恵を出し合い企画しなければと思いますし、市主催のイベントが同じ日にならないように、市レベルでの横の連携も必要です。

## 体細胞クローンに関する農林水産省の 対応方針に関する東北農政局管内説明会に参加して

2009・7・16 仙台第二合同庁舎

### 【説明会開催の経緯】

2008年4月に厚生労働省の増添大臣（当時）から食品安全委員会に対して、体細胞クローン家畜についての「リスク評価」の諮問がありました。この6月25日に食品安全委員会が「食品としての安全性評価」を出しました。農林水産省は各地で説明会を開き意見を募っています。今回の内容を各県に帰って知らせてほしいとのことでした。

### 【食品安全委員会から安全性評価について内容説明】

- \* 体細胞クローンの作り方と、クローン家畜の死亡率が高いことが図解で説明されました。どうすれば死亡率を下げられるか目途すらもたっていないとのことでした。
- \* 食用・乳用としては採算に全く合わないが、研究の副産物として臓器移植など医療用のモデルとして利用できているそうです。
- \* 肉・乳について、クローンと従来の繁殖技術で生まれた家畜において比較検査したところ、同等の安全性を有すると判断したとのことでした。新しい技術なので引き続き安全性に関する知見を収集する必要も同時に述べられました。

### 【農林水産省から今後の対応について】

- \* 研究機関では生産率向上に努めること、農水省では情報を分かりやすく公表すること、生産物は厳重に管理するとのことです。（ただし試食会は妨げないそうです）

### 【参加者から】

- \* 食用に出回ることへの不安や、何年も食べ続けることに対する不安、現在の科学レベルでの判断に過ぎないのではといった不満や、アメリカの圧力ではないのか、輸入の解禁なのかとの疑問が寄せられました。農水省からは、数が少ないので出回ったり輸入するのは難しいこと、科学データは引き続き集めると答弁がありました。
- \* 他に、生存率はここ10年上がっていないので莫大な予算をつぎ込むのはどうか、消費者への広報の徹底を望むといった声もありました。

### 【感想】

食品安全委員会と農水省の説明をコンパクトに聞く機会をいただいて為になりました。現時点ではクローン家畜が食用に出回る心配はないですが、何年か後にも出回らないということではないので、引き続き関心をもって見守りたいです。

国民の多額の税金をつぎ込んでいながらも関わらず、生存率がなかなか上がらないのであれば、研究機関の縮小なども時限を区切って考える必要もあるかもしれません。

報告 横藤 崇子



## 平成21年度東北地方液化石油ガス懇談会に参加して

日時：2009年10月7日（水）13：30～16：00

会場：KKR ホテル仙台 2階「磐梯の間」

### LP ガスの特徴と役割

- ・ 酸性雨の原因となる SO<sub>x</sub>（硫黄酸化物）、地球温暖化の原因となる CO<sub>2</sub> 排出量が少ない
- ・ 液化が容易で輸送・貯蔵がし易い
- ・ 災害時に安全装置により一時、使用できないが復旧が早い
- ・ 輸入依存度が高く（中東 86%）有事の際の安定供給が課題  
（安定供給確保のため、輸入業者に対し備蓄が義務付けられている、50日分）  
（国家備蓄も40日分を目標に体制を推進中）

### 価格

- ・ 平成21年8月全国平均 6983 円
- ・ 岩手 7800 円くらい
- ・ エネルギー間競争の激しい首都圏、近畿圏は平均価格が低い、地域間格差が大きい（使用量、配送コスト、販売店ごとの顧客件数など様々な要因があり、差が出ていることをご理解いただきたいとのことでした。）
- ・ 東北や北海道はガス需要が以外に少ない、暖房は灯油が主流。
- ・ 料金の仕組みが分かりにくいとの声が多い。

### 保安をめぐる状況

- ・ H20年10月以降、販売されているガスコンロは全て、全バーナーに安全装置が装備され高齢者にも安心して使っていただける器具であるので、普及に努めたい。事故を防止するための社員教育に努めたい。

### 感想

- ・ 環境にやさしいとオール電化が叫ばれているが、高額な設備に手が届かないというのが大方の意見ではないでしょうか、そんな中、以外にも LP ガスは、CO<sub>2</sub> 排出量が少なく、熱効率も高いということがわかりました。
- ・ 地震などの災害時にはライフラインが切断されてしまいますが、一戸単位で安全を確認し、復旧可能なため、復旧までの時間が短くてすみます。
- ・ 検針時に高齢者への声かけなど、地域の見守り隊としての役割を進める活動なども報告され戸別訪問の仕組みがうまく活用されていると感じました。
- ・ LP ガスの大半を情勢の不安定な中東に依存しているのが気になりました。

報告 田上みね子



## 岩手県消費者大会全体会

開催年月日 2009年10月30日(金)

場 所 岩手教育会館

時 間 10:30～15:30

基調講演の部 講演者 経済評論家 内橋 克人氏

「人が人らしく生きられる社会をめざして」の基調講演がありました。

内橋さんは人が人らしく生きられるためには

☆ 物理的に安全、安心であること

☆ 社会的排除がない(アメリカの無保険、金融排除など)

☆ 生き方の選択が自由であること(失業していない、生きがい、働きがいがある、社会的に必要とされる、介護が充分受けられる)

この3つが持続可能であること、の4つを人が人らしく生きられる必要条件だとのことでした。しかし現況は、若者の仕事が無い、高齢者が天寿を全うすることを喜ばない社会で「協同組合運動と貧困からの解放は切っても切れない関係で、協同組合の精神を忘れてはならないとし、神戸で生協を作った加賀豊彦さんの話をされました。

私は、加賀豊彦さんという人を知りませんでした。調べてみると、平和、福祉、協同組合、農、宗教など人間の暮らしのいろいろな面に挑戦していく道筋を作った開拓者で、また、小説家、学者、牧師でもあったということが分かりました。

非正規雇用増加問題について、市場原理万能主義が引き起こしたとし、日本の上位企業だけが潤って、稼いだ金は国内に流れていない、なぜ低価格の商品が出回るか、低価格商品が出回れば低賃金になり国内産業の空洞化になり、それで人が人らしく生きられるのかなど社会を変える自覚的消費者の行動(生きる、働く、暮らす)が大切だとのことでした。

物価安、デフレは助かるような気がしておりましたが、買い物をする時、なぜこんなに安い値段で売られているのか、ということも考え行動をするべきだと思いました。

生きる、暮らす、働くということは当たり前のことだったのに、現在はそれができないような状況にあり、これからの子どもや若者に当たり前のことができるような社会になるよう、自分たちに何ができるか考えながら生活していきたいと思えます。

報告 松村 ウメ子

岩手県消費者大会 第3分科会 (医療) 地域医療再生への道

2009年10月30日

基調報告 村上一雄氏(岩手県社会保障推進協議会事務局長)

岩手県の医療施設の現状報告がありました。県では、6医療施設の入院ベッドの無床化を計画している。(紫波地域、大迫地域、岩手町、花泉地域、住田地域、九戸地域)

医療制度破壊・地域医療の崩壊は構造改革のもたらした結果であります。地域医療の崩壊は診療報酬抑制・医師数抑制のため、病院経営の行きづまり、医師不足、地域格差が拡大し、希望のもてない地域からの流出がおきるのです。地域医療を守るのは、住民が安心してかかれる病院作り、医師の負担軽減、病院の経営も皆大事です。そのためには、国に抜本的対策を求めるとともに県、市町村、住民がじっくり話し合い、知恵を出していくべきです。

問題提起者 及川剛氏(岩手県地域医療を守る住民組織連絡会代表)

住民の命、健康、生活を守ることが行政の最低で最高の責任であります。この新計画が実行されたなら、岩手の医療体制崩壊の前に県民、住民の命と生活が崩壊します。私たちは入院ベッド縮小廃止を断固反対します。

今回、医師の家族の方からの発言がありました。「私たち家族は、不眠・不休で働く姿を見るにつけ、なぜ、医師がいつも悪く取り上げられたり、訴訟の対象にされたりするのでしょうか？どうして一緒にがんばりましょうと言ってくださらないのでしょうか？」心のそこからの訴えが印象にのこりました。

報告

葛 和子

## プラスチック製・紙製容器包装分別学習会

研究会では10年以上前からごみ問題に取り組んできました。平成22年8月から盛岡市・都南地区でプラスチック製・紙製容器包装の分別収集が始まります。

3月の例会では、盛岡市が作成した分別収集のビデオを見て、事前学習会を行ないました。

研究会では、ごみ問題の啓発のため、家庭ごみの中で課題となることを見つけ、研究や実践をし、啓発活動に取り組んできました。

食品の容器包装の燃焼調べ、容器包装の値段調べ、食品ロス調査、生ごみダイエット、家庭系有害廃棄物の適切な処理方法、過剰包装調べ、家庭系ごみの有料化アンケート、風呂敷の活用、布ぞうり作り、環境カルタ、エコツリーの活動など、また、トレーや紙、ガラスのリサイクル工場見学、盛岡市近郊のリサイクル事業所や清掃事業所、清掃センター見学など、自分たちの出したごみの行方を追ってみました。

その様子を盛岡消費者まつり、岩手県消費者大会、みどりのフェスティバル、環境フォーラム、岩手県環境王国展に展示発表し、啓発をしてきました。

食用廃油を利用したリサイクル石けん作りは30年以上にもなり、毎年8月1日の「水の日」には肴町アーケード前やカワトクデパート前でも無料配布をし、市民に対しての啓発活動を続けてきました。

今回のプラスチック製・紙製容器包装の分別収集開始により、ごみ減量化と経費節減が期待されています。

研究会のごみ問題の活動を継続していくことが、ごみ有料化議論の凍結にも繋がるのではとの思いで活動を進めていこうと思います。



プラスチックと紙製容器包装の分別収集についての学習会



## 第48回全国消費者大会に参加して

日時 2009年11月18,19日  
場所 東京・新宿区 全労災ホール  
テーマ 消費者の力を結集しよう！ み～んなで安心して暮らしたいっ！

全体会 18日(13:30~16:30)

### 1 基調講演 私たちはなぜ、安心して暮らせないのか？

「格差」「貧困」問題解決のために、私たちにできること

講師 金子 勝さん 慶応義塾大学経済学部教授

【内容】

- \* 現在の大不況を語る前に、小泉改革の失敗をきちんと総括する必要がある。
- \* 大企業や官庁の既得権益、一部の金持ちの利益を優先した結果、新産業も育たず格差が広がった。構造改革をあおった新聞も、未だ反省もしていない。格差や貧困は自己責任によるものではない。これまでの貿易立国の考えは変え、「持続可能な社会」を構築する必要がある。
- \* 女性リスクを下げるのが社会の持続につながる。地域社会を建て直し、雇用を守り、子どもを社会で支える発想が大事だ。「日本」が持続できるように環境や農業で日本社会を新しく構想していく必要がある。消費者団体は、社会が内需型の新産業(環境・農業・医療・保育など)に新しい価値が認められる様に応援してほしい。

【感想】

時折ユーモアも交え、エネルギッシュでわかりやすい内容の講演でした。ユニクロなど安いものを買うことで、賃金が下がり雇用の破壊につながるとの指摘に、理屈ではわかるけれど低価格志向を止めるのは難しいだろうと思いました。

「構造改革」が合理的で良いものなのだと、よく検証もせずに賛成してきた国民にも責任はあると反省させられました。

社会のあらゆるところで地域や隣人からの繋がりが断ち切られ、社会全体が未来を語れなくなっていることがよくわかりました。持続可能な社会へのキーワードは「人と人とのつながり」だと感じました。

### 2 パネルディスカッション

みんなで安心して暮らせるために、私たちの役割は何か

パネリスト 小木曾 宏さん(児童自立支援施設開設)

富樫 匡孝さん(自立生活サポートセンター もやい)

宮澤 進さん(生活困窮高齢者支援)

3人がそれぞれの立場で、身寄りのない子ども・ホームレス・食べるために犯罪を犯してしまう高齢者への支援活動の現状の報告と、そこから見えてきた問題点を話しました。「人と人とのつながり」が断ち切られていることが困窮者の現状をさらに困

難なものにしているというお話が印象的でした。

特に富樫さんはご自身がもとホームレスで、助けてくれる人も無く精神まで病んだこと、宮澤さんは市役所職員時代に、保護を求めてきた高齢者を軽トラックの荷台に乗せて橋の下に置きに行った経験が今の活動のきっかけだったことを告白されました。二人とも20代で月給は13万円くらいとのこと、貧困者が貧困者を支援している笑えない状況だそうです。

パネリストが消費者団体に望むことは、とにかく一度現場に来て実情を見てくださいということで、それが行動につながりますと言っていました。若い人がぎりぎりの現場で頑張っているのです、私も小さくても何か行動をおこさなくてはと思いました。

### 特別分科会 「平和」18日(17:00~19:10)

安心してらせる未来をこどもたちへ～核兵器のない世界へ

### 分科会 19日

- 1 消費者政策 消費者庁ってなあに？
- 2 食 食べ方を変えてみませんか
- 3 暮らしのセーフティネット 社会保障制度をめぐる問題とその財源のあり方
- 4 環境 地球の未来を考える

### 暮らしのセーフティネット分科会に参加(約80名の参加)

#### ① 基調講演 ほころんだ暮らしのセーフティネットをどうする

講師 唐鎌 直義さん 専修大学経済学部教授

\* イギリスは医療も年金も一元化できているのに、日本ができない理由は、社会保障制度の成り立ちがそもそも違い、イギリスでは下層の人を救うためにできたのに対して、日本は恩給も医療も特権階級のものだった歴史があるからとのことでした。

\* 野宿者は「見える貧困」だが、ローン破産や多重債務自殺など「見えない貧困」が広がっており、これは人間関係の希薄さも原因だそうです。

\* 累進課税を強化し法人税を上げるように国民は声をあげなければならないし、税金の使い方にしても、どう分配していくかの考え時であると強調していました。

\* ベーシックインカム(最低限所得保障の一種。政府が全ての国民に対して毎月最低限の生活を送るのに必要とされている額の現金を無条件で支給するという構想。)を考える時、「賃金」は生活のどの部分までを賄うのか、年金・介護・医療・教育など公共サービスはどこがみるのか、の国民的合意が必要と主張され、このあたりのことをもっと詳しく勉強したいと思いました。

#### ② パネルディスカッション

川添 誠さん (首都圏青年ユニオン) 「若者に明日の見える生活を」

藤谷 恵三さん (日本生協連医療部) 「安心できる医療・介護を」



\* 川添さんから「派遣切り」がおこる仕組みと、貧困者は努力不足で貧困に陥っているのではないこと、自己責任論がこの状況に追い討ちをかけているとの説明があり、反貧困運動もネットワークを広げ継続していけば、平和運動と同じに日常的な普通のことになっていくはずだと、関係者間の連帯を訴えていました。

\* 藤谷さんは、東京都内の高齢者実態調査から社会保障費を増額する必要があると述べられました。

#### 【感想】

短い時間にぎっしりと内容が詰まった大会でした。ここ1～2年で貧困の話は、一部の人だけの問題でなく国民みんなの問題だということが認識されてきたと思います。講演者やパネリストの人たちも、より多くの人たちに実態を知ってもらい、ネットワークを組んで貧困をなくしていきたいと、熱心に参加者に語りかけていました。

こういう会に参加させてもらおうと、短い時間で問題点の整理がなされ、解決に向けての方策が専門家から示されるので、日頃の疑問が解けてとても有意義でした。

報告 横藤 崇子

#### 特別分科会 「平和」に参加

講演 詩人 アーサー・ビナードさん（アメリカ・ミシガン州生まれ）

ビデオレター 岩佐幹三さん（日本原水爆被害者団体協議会事務局長）

原爆体験詩の朗読 朗読サークル ぼえむの皆さん

#### 【ビデオレター上映】

岩佐さんは中学在学中、広島爆心地から1.2kmの自宅で被爆し、母妹は爆死し、原爆孤児となりました。原爆時のありさまがビデオレターとして映し出されました。

#### 【講演】

原爆では100万人とも言われる死者を出しました。私は、なぜ原爆で戦争を終わらせたのか、なぜ2回なのかと疑問に思っていました。テレビではアメリカは正しいというドキュメンタリーを放送していました。私の父は、戦争はお金儲けのためにやると言っていました。

1995年に戦後50年でしたが、日本の天皇からも手紙が来ていたという資料が出てきました。しかし、それも無視して原爆を落としたのです。大金を使って原爆を作ったので、使わなければならなかったのでしょうか。原爆の定説（戦争を早期終結させるために原爆を落とした）を維持するため、政治家たちは一生懸命だったでしょうが、それは国民をだまし続けていることです。私は定説を破り、真実を知ることができたと思っています。

現在、ミサイル防衛システムも作っています。本当は防衛でなくても「防衛」と付くと軍事予算がたくさん入るのです。防衛のための銃撃が問題になれば、やはり銃を持っていないとだめだとなります。アメリカのホームセンターには銃のコーナーがあり、「ライフル銃大売出し」もあるし、ガン専門店では奥さんが説明し、5連銃・9



連続などを勧めて平気で売っています。防衛のためと言いながら、核も銃もひとつの器に入れ正当化しているのです。

#### 【感想】

核兵器を作ると利益が大きいので、なかなか無くなりにくいものだというのを、私たちはずっと忘れずに気をつけていく必要があると思いました。核兵器廃絶に向けてアメリカとロシアが話し合いをしているのに、どうして世界では核兵器が増え続けているのでしょうか。日本は被爆国として核廃絶運動の中心とならなければなりません。原爆を世界からなくしましょう。

### 消費者政策の分科会に参加 テーマ：消費者庁ってなあに？

コーディネーター 池上彰さん パネリスト5人

#### 【消費者庁創設の背景】

消費者庁審議官・羽藤秀雄氏より、消費者庁は消費者・生活者の視点に立って消費者行政を統一的・一元的に進めるために、平成21年9月に創設された新しい組織だとの説明がありました。創設の背景は、消費者団体を初めとする関係者の長年の思いでした。今や「安全安心な市場」「良質な市場」の実現こそが、新たな公共的目標として位置づけられるべきものです。それは競争の質を高め、消費者・事業者双方にとって長期的な利益をもたらす唯一の道です。

#### 【果たすべき役割】

「司令塔」の役割で、消費者事故等に関する関係機関からの情報を集約・公表することです。所管法は表示・取引・安全・業法などで、特に食品の安全などを考えて監督していきます。消費者にとって便利で分かりやすいこと、メリットを十分実感できること、速やかな対応、専門性・透明性・効率性の確保、安全安心を守ることなどを目指したいそうです。

#### 【消費者教育と学校との連携について】

教材を作って消費者教育をするだけでなく、消費者の目線で小さい時からの環境教育や家庭教育をすることが大切だということでした。世の中から弱いものいじめをなくそうとのお話もありました。

#### 【感想】

羽藤さんより、消費者庁ができたからもうこれで良いのではなく、行政まかせにせず、消費者庁をしっかり育てたいという意識を持って消費者団体がきちんとチェックしてほしいとのコメントがありました。

池上さんからは「お上よ。何とかしてください。」ではなく、自ら行動し活動する自立した消費者でありたいし、「消費者庁はこうあるべき」と定義していく姿勢こそこれからの消費者に課せられた役割ではないかと重い投げかけがありました。

私たちも「消費者庁ができたから良かった。」で終わりにせず、見守り、要望を伝えていく姿勢が大切だと思いました。

報告 杉山 温子

平成21年度活動報告 (2009年度)

4月

- 15日(水) 例会 共済会会議室
- 22日(水) 消団連総会 県民会館会議室
- 24日(金) 消費者まつり担当者会議 おでって
- 28日(火) 活動報告書まとめ作業 共済会会議室

5月

- 13日(水) 活動報告書まとめ作業 共済会会議室
- 15日(金) 学習会・ゴミ有料化について 県民生活センター
- 18日(月) 例会 共済会会議室

6月

- 2日(火) 公正取引委員会独占禁止政策協力委員会議 盛岡市
- 17日(水) 例会 共済会会議室 「盛岡の水道水について」学習会
- 24日(水) 消費税・社会保障について学習、講演会 おでって
- 25日(木) 消費者まつり実行委員会 おでって
- 30日(水) 消団連幹事会、消費者大会実行委員会 県民生活センター

7月

- 8日(水) 例会 共済会会議室
- 14日(火) 消費者まつり実行委員会 おでって
- 21日(火) 消費者大会実行委員会 県民生活センター
- 27日(月) 水の日行動 準備 共済会
- 29日(水) 岩手大学主催「多重債務問題のない社会づくりに今必要なこと」  
盛岡市勤労福祉会館5階大ホール
- 31日(金) 水の日行動 中三前

8月

- 18日(火) 消費者デー実行委員会 おでって
- 19日(水) 例会 共済会会議室
- 26日(水) 消費者大会実行委員会 消団連幹事会 教育会館2階会議室
- 28日(金) 信用生協創立40周年記念のつどい エスポワールいわて

9月

- 4日(金) 消費者デー準備・搬入
- 5日(土) 消費者デー おでって
- 9日(水) 例会 共済会会議室
- 30日(水) 消費者大会実行委員会 消団連幹事会 教育会館3階会議室

10月

- 1日(木) 消費者大会打ち合わせ(水道部の阿部さんと)
- 2日(金) みんなで考えよう!子どもの権利 おでって3階大ホール
- 7日(水) 東北地方液化石油ガス懇談会 KKRホテル仙台
- 14日(水) 消費者大会実行委員会 教育会館3階会議室
- 15日(木) 例会 共済会会議室
- 22日(木) 全国女性会議 おでって
- 30日(金) 岩手県消費者大会 教育会館

11月

- 11日(水) 例会 共済会会議室
- 18日(水)、19日(木) 全国消費者大会
- 20日(金) 「女性に対する暴力をなくす運動」講演、パネルディスカッション  
おでって

12月

- 2日(水) 産直運動推進大会 県民会館中ホール
- 9日(水) 例会 共済会会議室
- 12日(土) 子どもの貧困を考えるシンポジウム 教育会館大ホール
- 16日(水) 食の安全に関する学習会「農薬について」岩手農政事務所
- 16日(水) 消団連幹事会 教育会館会議室

1月

- 13日(水) 例会、共済会会議室 新年会 利衛門
- 16日(土) 地球温暖化防止に関するシンポジウム アイーナ8階会議室
- 26日(火) レジ袋削減を広める県民会議フォーラム  
盛岡市総合福祉センター
- 27日(水) 消団連幹事会 日本損保協会東北支部との懇談会  
教育会館会議室



2月

- 1日(月) 公正取引委員会独占禁止政策協力委員会議 盛岡市
- 3日(水) いわて女性のつどい 盛岡市民文化ホール
- 10日(水) 例会 共済会会議室
- 13日(土) 消費生活力セミナー 県民生活センター
- 24日(水) 地デジシンポジウム 水産会館

3月

- 10日(水) 例会 共済会会議室
- 15日(月) 湯浅誠講演会 アイーナ8階会議室
- 23日(火) 消団連幹事会 県民生活センター

4月

- 7日(水) 例会 共済会会議室
- 14日(水) 消団連総会 県民会館会議室
- 15日(木) 「水清き」まとめ作業 共済会会議室、  
「貸金業法改正」講演会 おでって
- 18日(日) 「これでいいのか、世界一高い教育費を考える」講演会  
岩手県公会堂21号会議室
- 30日(金) 「水清き」最終検討 共済会会議室

5月

- 12日(水) 例会 共済会会議室
- 14日(金) 岩手消費者行政推進ネットワーク設立記念講演会  
県民会館中ホール
- 25日(火) 消団連幹事会 県民生活センター
- 30日(日) みどりのフェスティバル 中津川河川敷

☆各種モニター等

きれいな水といのちを守る連絡会会長 葛和子

公正取引委員会・独占禁止政策協力委員

(消団連常任幹事として) 松村ウメ子

\*\*\*\*\*

☆廃油石けん作り

松村 25、20

田上 23、20

細野 6、60

横藤 6、60

\*\*\*\*\*

☆ 会員

- ・ 佐藤まゆみ ・ 熊谷佳枝 ・ 杉山温子 ・ 葛 和子 ・ 長野慶子
- ・ 広野カツ子 ・ 松村ウメ子 ・ 田上みね子 ・ 細野孝子 ・ 吉田 静子
- ・ 横藤崇子 ・ 小野寺京子 ・ 桑畑とわ子 ・ 川村 正子

## 消費者デーの展示



## 消費者デーの参加者





